

# 令和7年度いしかわプラスチックリサイクル促進モデル事業 実施結果の紹介



(一社) 石川県繊維協会・(一社) 石川県産業資源循環協会

## 繊維くず（ナイロン）の産地循環型ケミカルリサイクルに向けた実証事業

### 課題と対応

県内で繊維くず（廃プラスチック）は年間約7,000トン発生し、大半が廃棄処分されており、資源の循環利用や廃棄物処分費用の削減が課題となっている。

今回、地域内での資源循環スキームの構築を目標として、県内複数業者から繊維くず（ナイロン）を効率的にルート回収し、小ロットでのケミカルリサイクルに向けた実証事業を実施する。

### 事業の効果

効率的なルート回収や廃棄物として処理されていた繊維くず（ナイロン）を資源として循環させることで、プラスチック使用量の削減、化石燃料使用量の削減、二酸化炭素排出量の削減に資する。

### 事業の結果

- 県内の複数事業所から繊維くず（ナイロン）計2,630 kgを、3回に分けて効率的にルート回収した。
- ケミカルリサイクルの前処理としてペレット化するため、回収した繊維くずを選別し、1,530 kgを台湾へ輸出した。
- 台湾でペレット化の実証実験を行い、糊の影響を除去する必要があるとの結果を得た。



左：台湾へ輸出のため、繊維くずを選別し梱包した様子  
右：台湾企業にて実施したペレット化実証実験の様子

### モデル図

